

6月3日作成

第一回中川村 WS ー各グループまとめ資料ー

I ■建築空間に特化して、**グループ共通で求められた空間、機能**

① 学校施設と地域交流施設が交わる空間

※その機能としては、特にランチルームが求められた。

→学校施設と地域の間領域となる機能を、学校敷地の周辺部に実現できると好ましい。そのうえで、自然や遊びの施設を許容できる空間があると良い。
共有空間に関しては厳密に規定せず、村民や子供たちが柔軟に活用方針を決めていけることも重要である。

具体例：



Fig1.十字形でゾーニングを行う

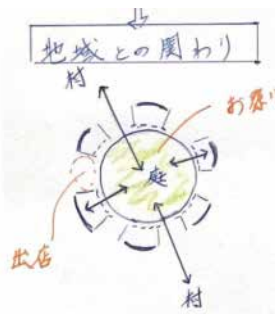


Fig2.店舗機能の誘致

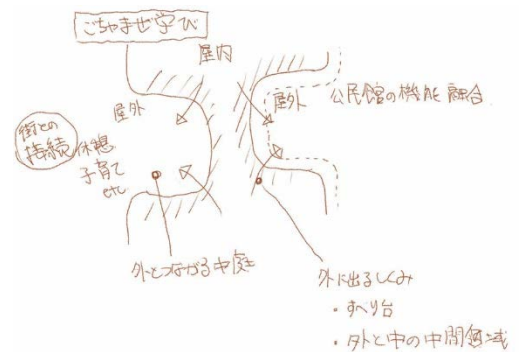


Fig3.学校内外を繋ぐ役割としての渡り廊下

② 広い空間と個人空間の混在→静かに集中できる空間の確保

※『ごちゃまぜ学び=交流にあふれ、賑わいがある状態』だけではなく、静かに自分の学習に没頭できる空間を内包している状態を指す、ということが明らかになった。

→ごちゃまぜだけでなく、探求的側面も見出すことができる。対象は子供だけでなく、先生にとっても重要な休息場となる可能性が高い。

具体例：

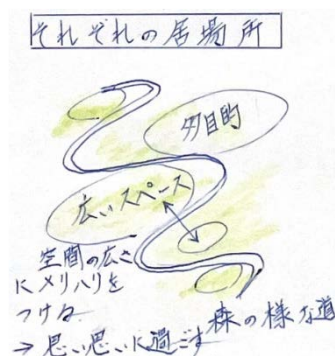


Fig4.空間の大小にメリハリをつける

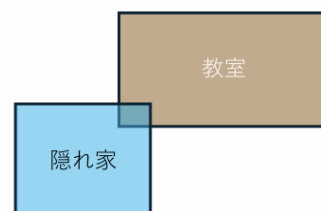


Fig5.教室と個別の空間が絡む配置

③ 自然とつながりが持てる学校空間

※どの班からも共通し、中川村の自然をデザイン計画に取り込みたいという意見が見られた。

これは、配置計画への応用が考えられる。学校の輪郭を曖昧にするようなプランや、余白を有効に活用することで、

具体例：

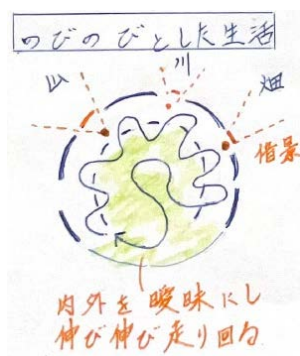


Fig6.校舎の輪郭を曖昧に計画する

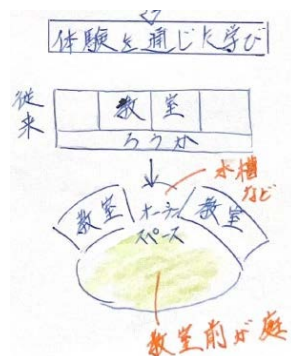


Fig7.オープンスペースを校舎で挟む

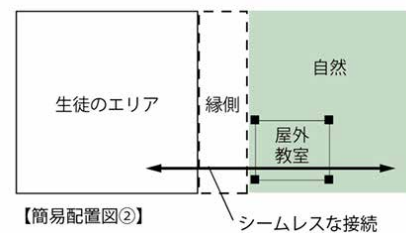


Fig8.干渉空間を活用したシームレスな計画

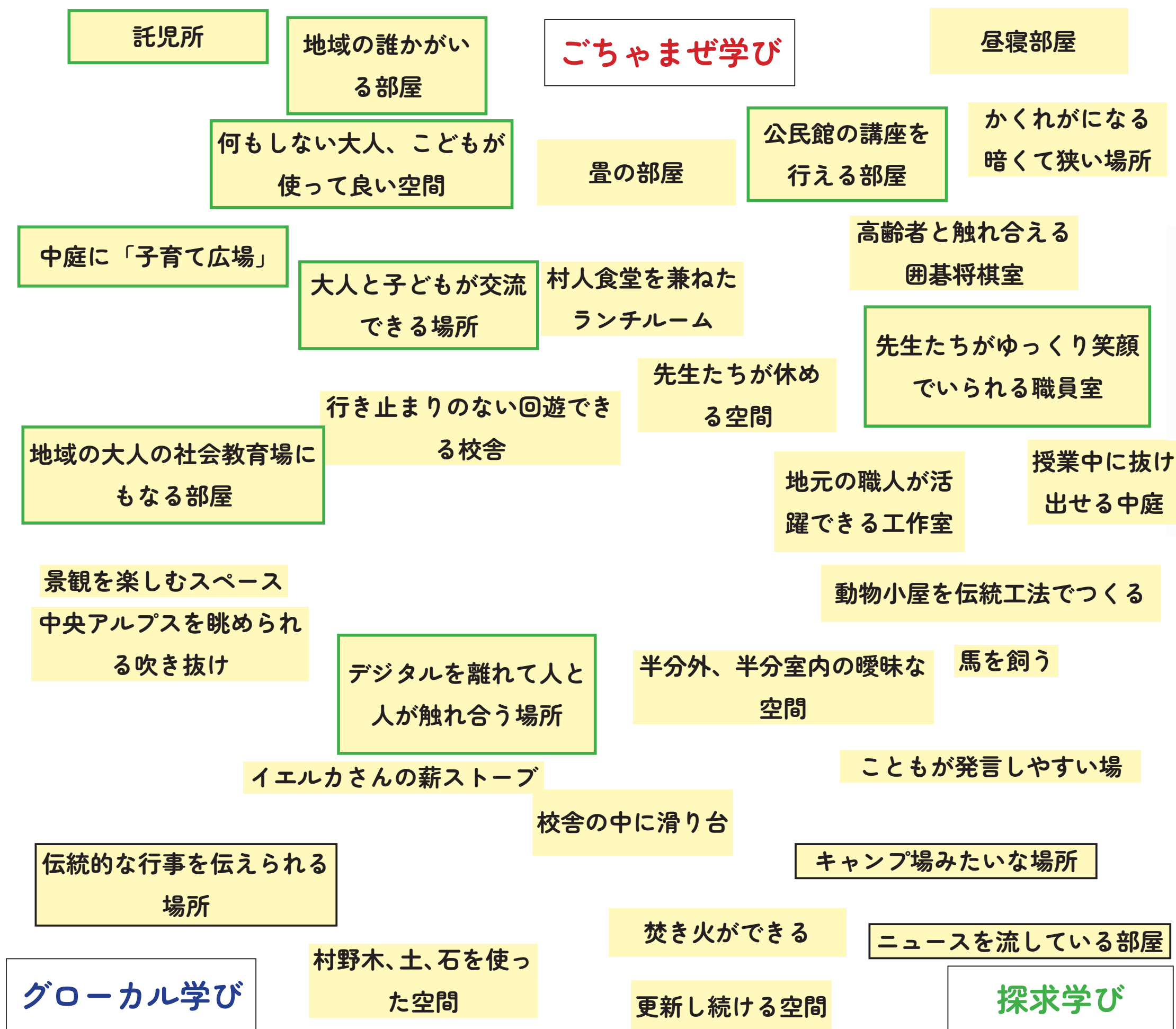
II ■中川村義務教育学校の3つのコンセプトと空間イメージについて

①探求的に学ぶ②ごちゃまぜに学ぶ③グローバルに学ぶ、の3つのコンセプトから創出された空間イメージを以下にまとめる。

	探求的に学ぶ	ごちゃまぜに学ぶ	グローバルに学ぶ
■配置提案	校舎と畑がつながる(6)	学年別オープンスペース(3)	公民活動が一体的に可能な校舎(8)
■教室空間提案	廊下と教室の仕切りがない(8)(6)		屋外教室(2)
	教室からすぐに中庭に飛び出せる教室(2)	扇形の教室(8)	
	ガラスで内外がつながる空間(6)	かくれがになる暗くて狭い場所(1)	
		壁一面がホワイトボードの部屋(8)	
		馬と一緒にの教室(2)	
		少人数で集まって相談できる教室(小さなホワイトボードを設置)(3)	
		可動式壁で広さを調整できる教室(3)	
		出入口が複数ある教室(3)	
■廊下	廊下がトラックになっている(2)	走れる廊下(8)(5)	教室前の広いスペース(5)
		曲がった廊下(8)	
		階段ではなくスロープ動線(8)	
		広い廊下(6)	
		学年集会ができる廊下(3)	
■特別教室			
○音楽室	ホールとして活用できる音楽室(8)	ホールとして活用できる音楽室(8)	
		円形で、階段状の椅子で多目的ホール	
○図書館	本棚と机を自由に動かせる図書館(8)	本の読める階段(7)	
	吹き抜けの図書館(8)	住民が利用できる図書館(3)	
		掘りごたつ(6)	
		円形読書室(6)	
		和室(6)	
○理科室	科学館、水族館のような理科室(7)		
○ランチルーム	子供が給食に関われるスペース(3)	大きなランチルーム(6)(5)(4)	
		住民に開放されたランチルーム(3)(4)	
○職員室	中庭にピオトープを作る(4)	オープンな校長室(8)	
		先生たちが横になれる職員室(1)(6)	
		明るい、視認性の高い職員室(7)	
		入りやすい、丸い職員室(7)	
○地域の人が使う部屋		地域の誰かがいる部屋(1)(8)(7)(6)(3)(5)	
		公民館の講座を行える部屋(1)(7)	
		大人と子どもが交流できるミニステージ(6)	
		地域の大人の社会教育場にもなる部屋(1)(7)	
		緑があるカフェ(2)(7)(6)(3)(5)	
○その他	芸術に打ち込めるものづくり教室(6)	秘密基地(7)(3)	デジタルを離れて人と人が触れ合う場所(1)
	好きなことができるコーナー(4)	託児所(1)	伝統的な行事を伝えられる場所(1)
	トンネルのような暗い場所(5)	児童交流センター(児童クラブ)が併設(3)	消防車のある学校(7)
		1人で集中できる空間(6)	温泉・サウナがある(7)
		何もしない大人、子どもが使って良い空間(1)	音楽会ができる階段状のスペース(2)
		自由な形の部屋(8)	サテライト教室の導入(6)
		イオンモールのように中も外もいっぱい歩ける(4)	コンポストハウス(5)
		保育園(4)	地域の人が入りやすい玄関(4)
○屋外	校庭のイチゴ畑(7)	中庭に子育て広場(1)	屋根付きのグラウンド(8)(7)→外で給食
	キャンプ場みたいな場所(1)	中庭に動物がいる(7)(5)	川が流れる学校、道の整備(8)(7)(6)
	ニュースを流している部屋(1)	学校の真ん中を通り、地域の方が自由に通れる小径(3)(	畑や田んぼのある学校(8)(5)(4)
	二階から屋外へロープかボルダリングで降りる(2)	薪ストーブ(5)	遊具空間、クライミング、アスレチック等(8)
	林とつながる屋外教室(7)(5)		地形を活かしたスタンドのあるグラウンド(2)
			村民グラウンド、現中学校グラウンド間の雑木林を利用した空間(キャンプ、ジップラインなど)
	各クラスごとの畑・飼育教室(6)		
	虫がいる草原(3)		
	果物のなる木(3)		
	人工芝校庭(3)		

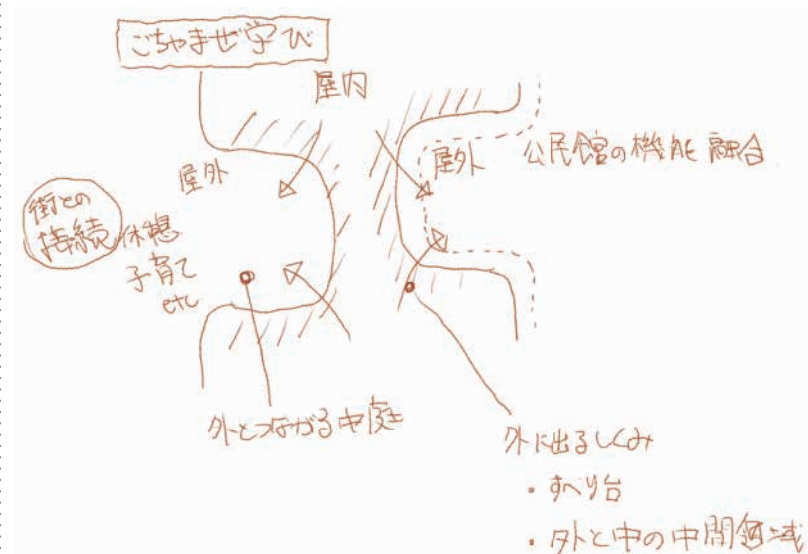
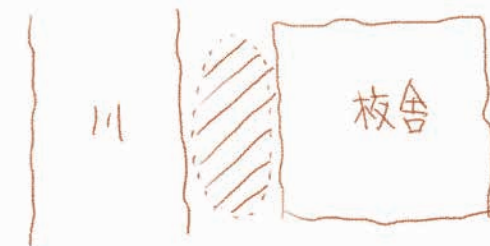
1班「まず大人が幸せそうに」

担当 島孝太



簡易平面計画

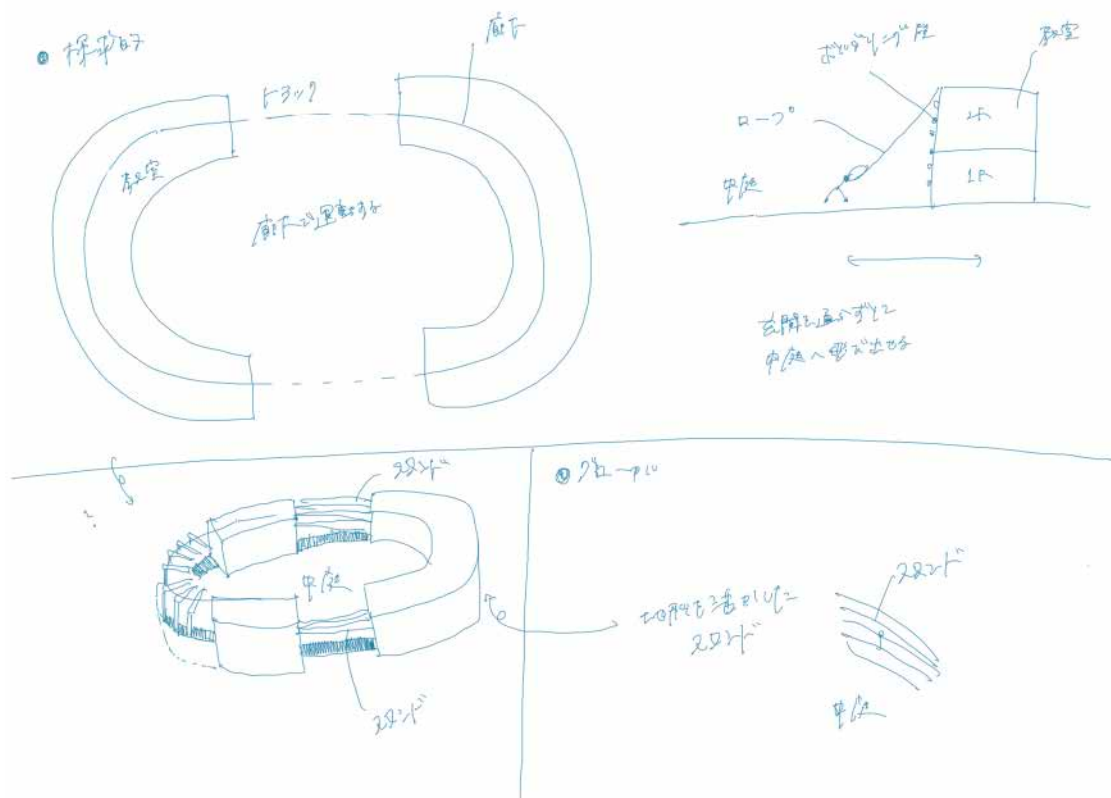
探求学び グローカル学び
し... 中川村の自然と親しい



2班「自然と触れ合い、体を動かして学ぶ」

○探求的に学ぶ

- ・廊下がトラックになっている
- ・二階から屋外へロープかボルダリングで降りる
- ・教室からすぐに中庭に飛び出せる教室



○ごちゃまぜに学ぶ

- ・緑があるカフェ
- ・馬と一緒に教室

○グローバルに学ぶ

- ・音楽会ができる階段状のスペース
- ・屋外教室
- ・地形を活かしたスタンドのあるグラウンド

3班:誰にでも居場所がある

その他

- ・男子の個室トイレ
- ・空調付き2階建て体育館

など、時代に見合った校舎の変化を求める声がきかれた。

その他

秘密基地、隠れ家など一人になれる場所が挙げられた。



隠れ家の案

グローバル+探求的に学ぶ

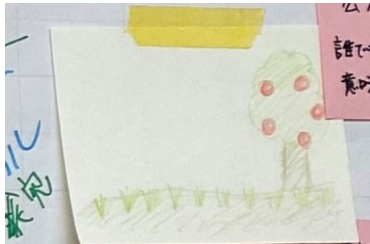
人工芝、果物になる木を植えるなど、自然と触れ合ってほしいという声がきかれた。また、学校の真ん中を小径が通り、地域の方がとおりぬけられるという地域の人を取り込むためのデザイン案もきかれた。



中庭



草原

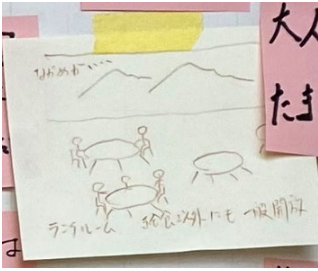


果物のなる木

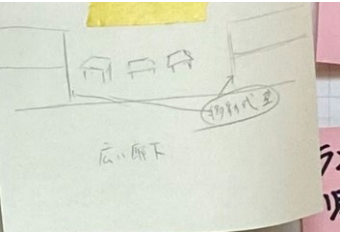


ごちゃ混ぜに学ぶ

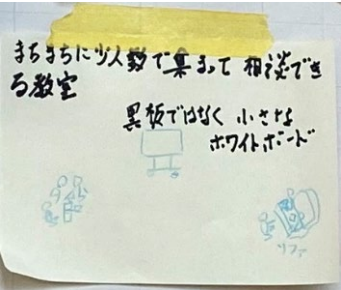
学年集会ができる廊下、ランチルームの村民への開放、村民の方との交流スペースなど年齢の壁を越えた交流を臨む声が多くきかれた。



眺めがよく、村民に開放されたランチルーム



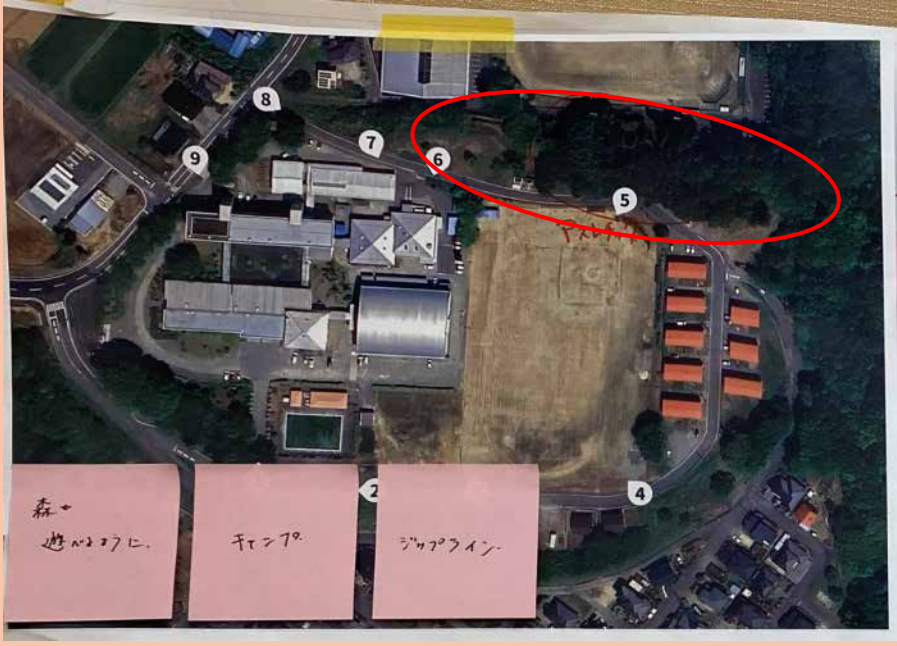
移動教室間の広い廊下



少人数で集まり、相談しあえる教室(ホワイトボードの使用)

最大の特徴:グラウンド間の利用案

村民グラウンドと中学校のグラウンド間にある雑木林について、ジップラインで移動できるようにする、森で遊べるようにするなど、活用したいという声がきかれた。



○探求的に学ぶ

- 自然を思いきり満喫できる空間
 - ・虫がいる草原(中川村に住んでいながら虫の触れない子がいる)
 - ・果物のなる木
 - ・人工芝校庭

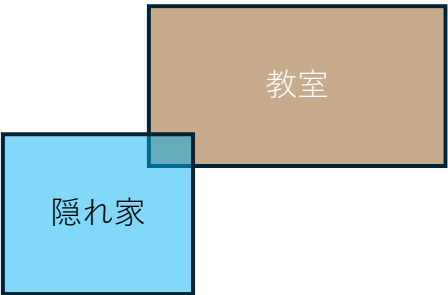
○グローバルに学ぶ

- 村民グラウンド、現中学校グラウンド間の雑木林を利用した空間(キャンプ、ジップラインなど)



○その他

- 一人になれる空間
 - ・ゆっくり安心できる保健室
 - ・秘密基地
 - ・子どもや職員が1人になれる部屋
 - ・隠れ場

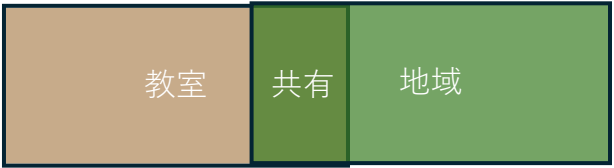


○3班まとめ

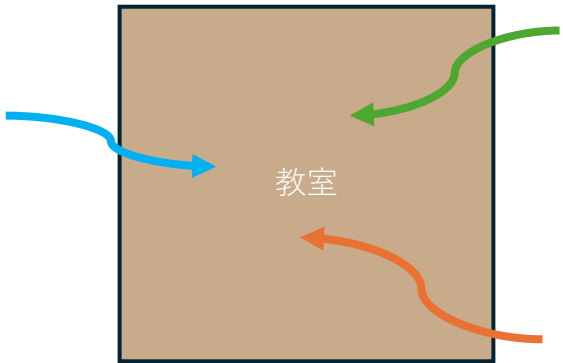
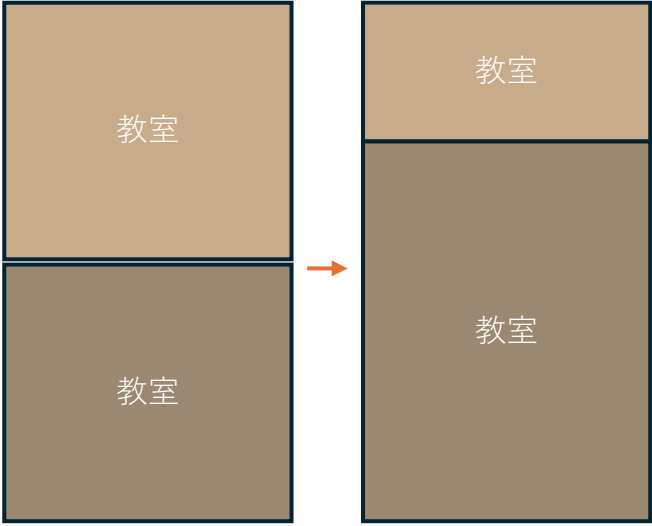
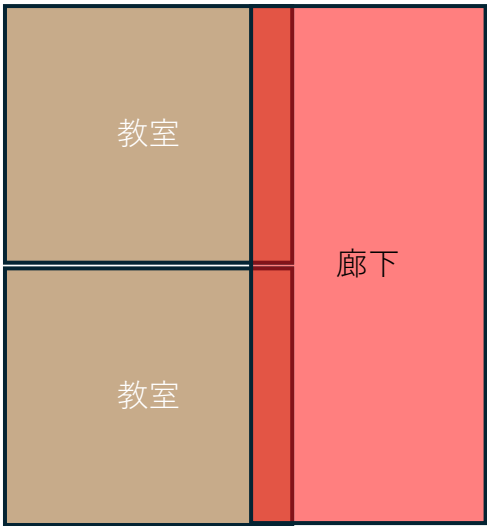
一人になれる空間、住民との交流スペースを挙げた人が多く見られた。
また、この班の特徴として、村民グラウンドと現中学校グラウンドの間にある雑木林を活用したいという声が聞かれたことである。

○ごちゃまぜに学ぶ

- 住民と子どもが共有できる空間
 - ・住民に開放されたランチルーム(眺めがいい)
 - ・住民との交流スペース
 - ・住民が利用できる図書館、カフェ
 - ・学校の真ん中を通り、地域の方が自由に通れる小径



- クラス単位を超えた学習空間
 - ・学年別オープンスペース
 - ・学年集会ができる廊下
 - ・少人数で集まって相談できる教室(小さなホワイトボードを設置)
 - ・可動式壁で広さを調整できる教室
 - ・児童交流センター(児童クラブ)が併設
 - ・出入口が複数ある教室



4 班：「未就学児が遊びに来れる学校」

○探究的に学ぶ

- 調理ができる部屋
 - ・子供が給食に関われるスペース
 - ・好きなことができるコーナー
- 先生たちが休めるスペース
 - ・中庭にビオトープを作る
 - ・秘密基地のような遊び場

○ごちゃまぜに学ぶ

- 給食をみんなで食べるスペース
- 給食を地域の人と食べるスペース
 - ・イオンモールのように中も外もいっぱい歩ける
- 給食カフェで地域の人也能来る
 - ・円形で、階段状の椅子で多目的ホール

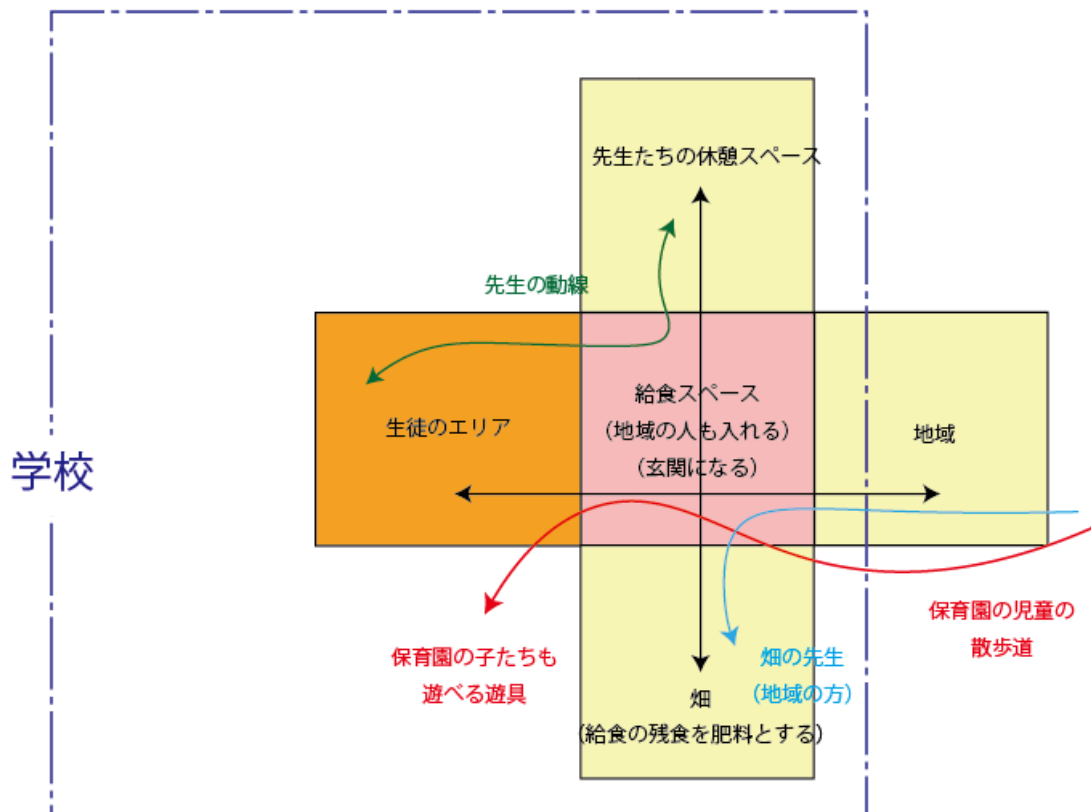
○グローバルに学ぶ

- 畑や田んぼの先生を地域の人がやる
- 保育園も入れてほしい
- 残食を肥料として自分たちで野菜を作る
 - ・小さい子を連れた親子で遊びに来られる遊び場、散歩道
- 地域の人が入りやすい玄関

○提案

「給食スペースが玄関の学校」

- ・給食スペースがすべての人たちの動線がつながる場となる
- ・給食スペースがセキュリティの役割を果たす
- ・中川村の「おいしさ」を通して **ごちゃまぜに学び**、**グローカルに学び**、**探究的に学べる**場になる
- ・保育園の子供たちが日常的にここにくることで、保育園から小学校の段差をなくしていく





《4班まとめ》

4班は保育園の先生など、保育園関係の人が多く、せっかく義務教育学校で小学校と中学校がつながっているので保育園からもつなげたいという意見が多く出た。アイデアや案も保育園や先生視点のものが多かった。

食に対する意見の多さや、大きな玄関が欲しいという意見から、給食スペースを玄関にして、そこが学校のセキュリティの役割を果たすことが有効だと感じた。

8 班 「どんちゃん学び」

... みんなが集まって、世代も越えて楽しめる 毎日誰かの花火? がある

ごちゃ混ぜ学び

地域とのつながりを持ちたいという意見が
多かった。高断着とのふれあいがあたり、
カフェや八目屋が併設されることで、
賑わいが創出される。村が一体となって
ほしいという願いが込められている。

グローバル学び

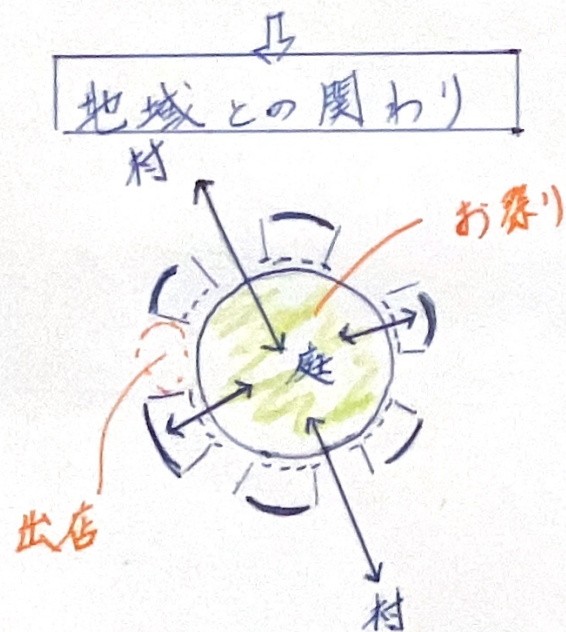
中川村の景色を学校の中にも取り入れたいという
意見が多かった。借景として中川村を眺められる
空間や、畑と実際に耕して取れた野菜を給食に
使うなど、のびのびと育てほしいという願い
が込められている。

探求的な学び

ただ広い空間ではなく、それぞれの子にも
居場所があり、安心して学べる環境を大
切にし、意見が争われた。また、水槽や
ニフトリ小屋など動物との触れ合いが探
求心を駆り立てるという意見も多かった。

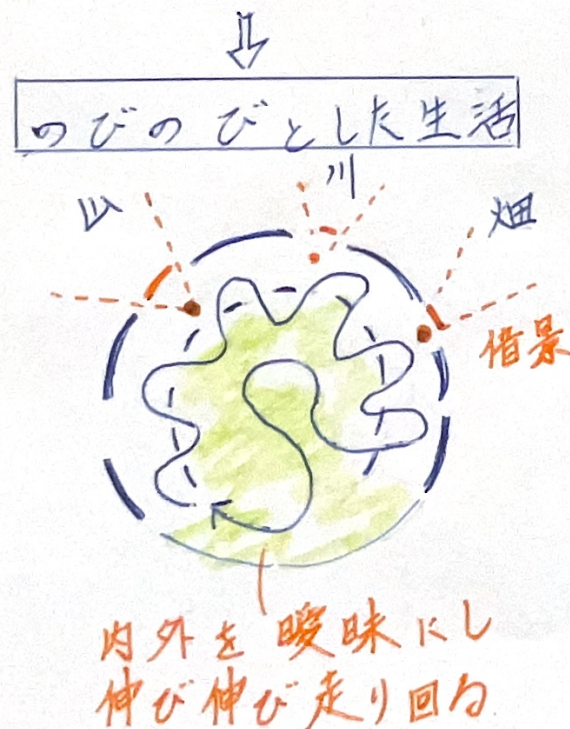
①

- ・ 村人も利用できる カフェ
や野菜や果物が買える
スペース
- ・ 地域のお祭りができる
スペース
- ・ 眺めがよい 学校
- ・ ランチルームの多様化
- ・ 駐車場がある
- ・ デイサービス 在場



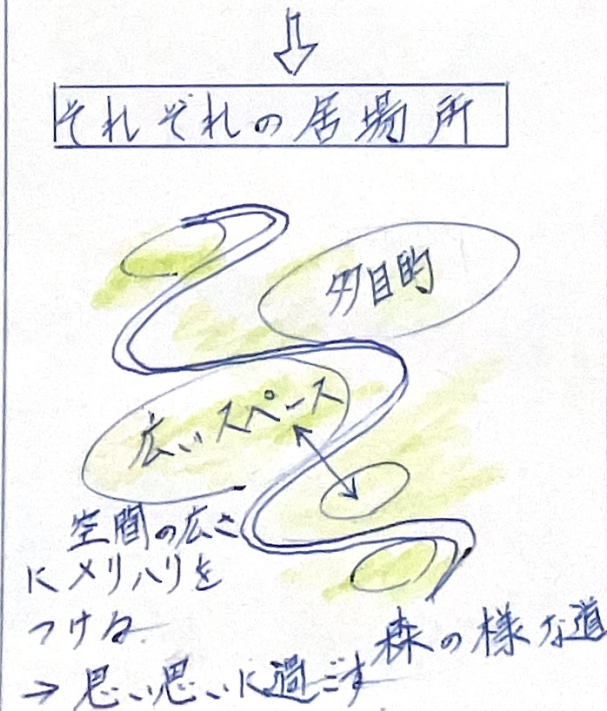
②

- ・ 子供が走り回れる場所
- ・ リングでつながる大屋根
- ・ 猫など癒しの存在
- ・ 眺めがよい 学校
- ・ 中川村っぽいシンボル
- ・ 時計ストーヴ



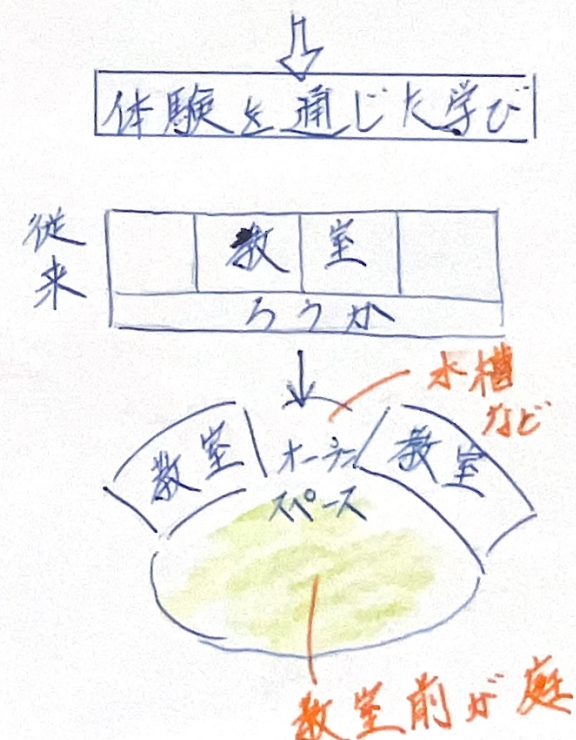
③

- ・ 中川村っぽいシンボル
- ・ 時計ストーヴ
- ・ 森の様な遊び場
- ・ トンネルの様な暗い場所
- ・ スルダウシ できる場所
- ・ 机や椅子になる階段
- ・ 吹き抜けの夕日眺スペース
- ・ ハンモック



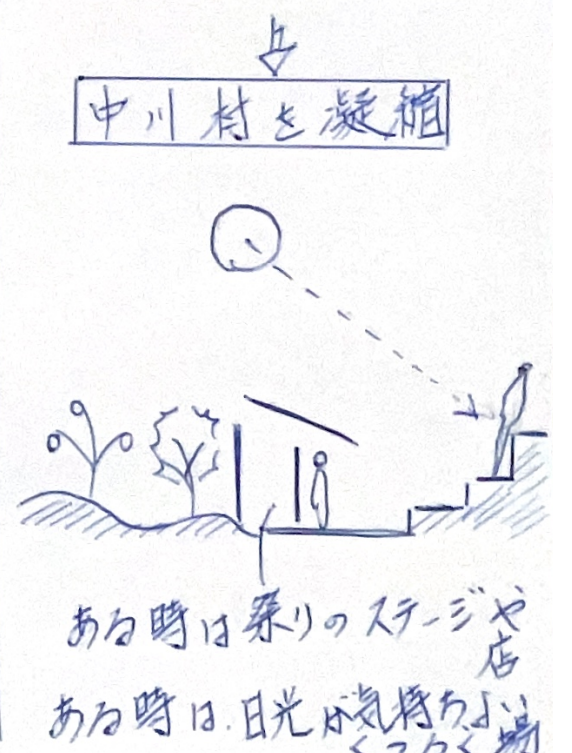
④

- ・ 焚火スペース
- ・ 水槽
- ・ 田や畑
- ・ ニフトリ小屋
- ・ 安全で安心できる場
- ・ 教室前に広いスペース
- ・ ユニポストハウス



⑤

- ・ 地域の祭りを 行える
スペース
- ・ 屋外ステージ・円形劇場
- ・ 野菜や果物が買える
スペース
- ・ 田や畑
- ・ ニフトリ小屋
- ・ 陽だまり スペース



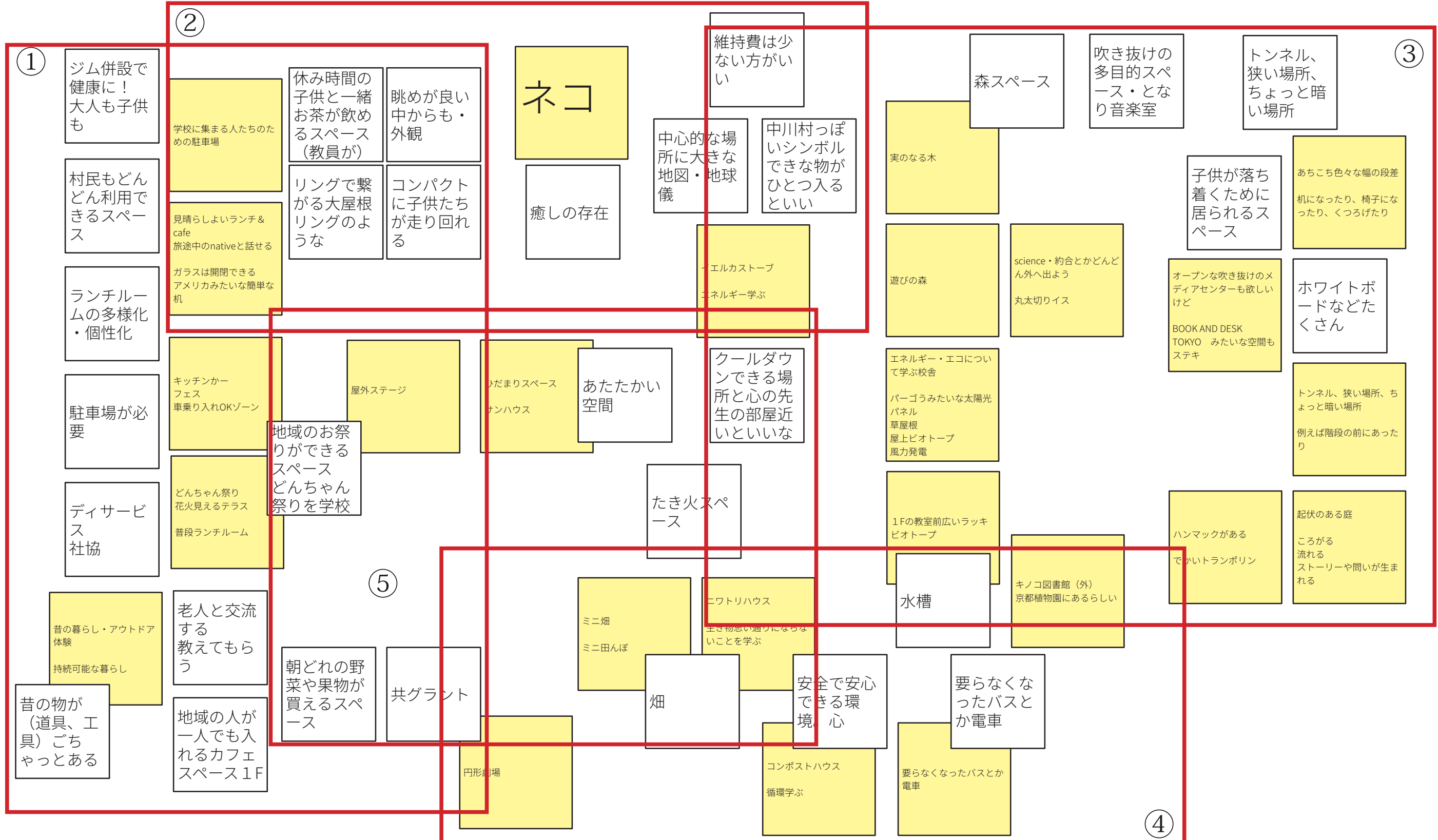
どんちゃん学び

みんなが集まって世代も超えて楽しめる
毎日誰かの何かの花火が「！」がある

こちゃまぜ学び

グローバル学び

探究的な学び



明るい学校
(日光が入る)



ジム併設で
健康に!
大人も子供も

休み時間
子供と一緒に
お茶が飲める
スペース
眺めが
良い
中にも
外観

維持費
少ない
方がいい

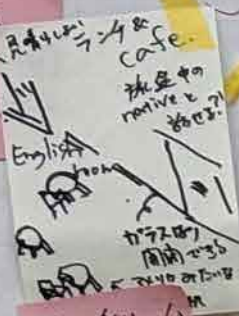
どんちゃん騒ぎ
(イナビ)
毎日 だんごのついでに花火が
! がある !

森
スペース

吸気口の
多目的スペース
と! 音楽室

トネル、せま
場所
と暗い場所

村民
どんどん
どきどき



ランチルーム
の多様化
個性化

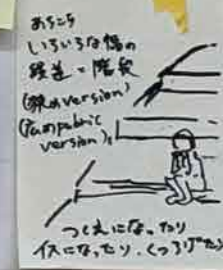


中心的な
場所に
大きな
地区
地域性

中川村の
シンボリック
なもの
ひきつり



子供が
つくる
ための
居
る
スペース

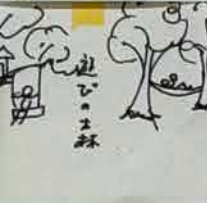
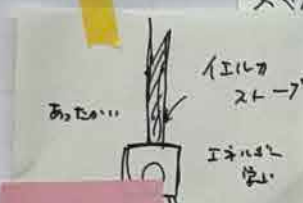


教室を
おこな
る教室
2人3人を
使う



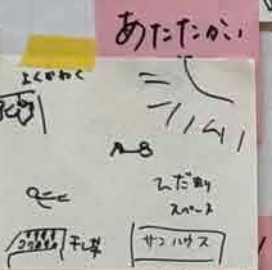
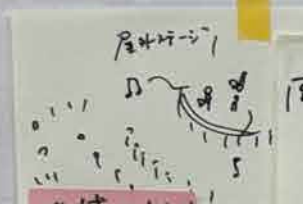
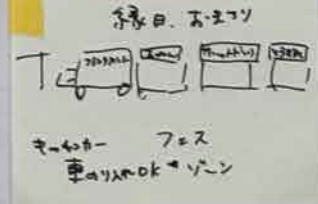
リングで
つながる
大層な
リングの

いやし
の存在

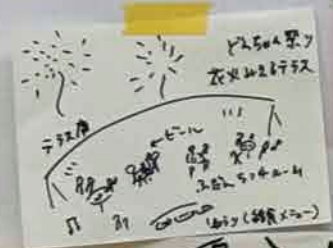
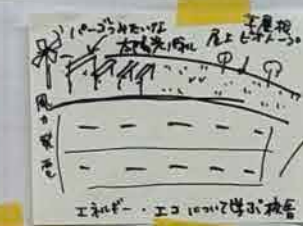


ホワイ
ポート
Tee bar

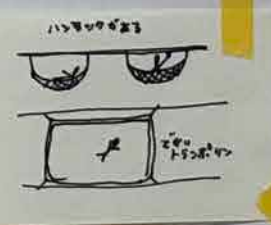
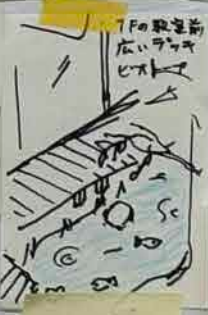
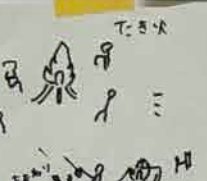
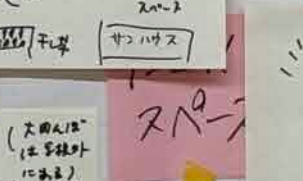
駐車場が
必要
サービス
社協



7-11
で
心の
通いやすい



地域の
お祭り
が
あ
る
スペース
お祭り
の
あ
る
スペース



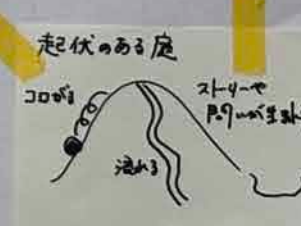
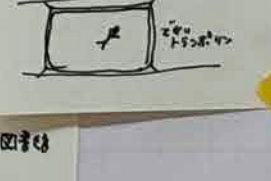
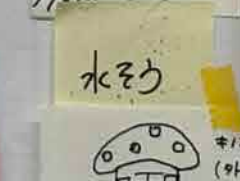
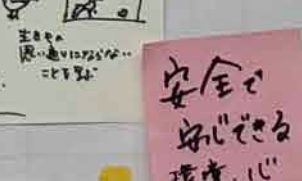
2時休憩
が
あ
る



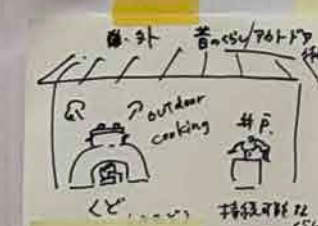
朝の
お茶
が
あ
る
スペース
朝の
お茶
が
あ
る
スペース

光の
あ
る
スペース

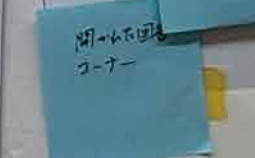
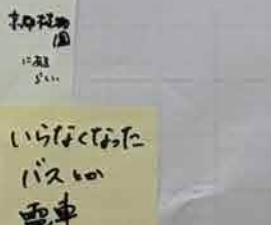
火
の
あ
る
スペース



誰か
が
あ
る
スペース



地域の
お祭り
が
あ
る
スペース
地域の
お祭り
が
あ
る
スペース



昔の
お祭り
(道具・工具)
が
あ
る
スペース

地域の
お祭り
が
あ
る
スペース
地域の
お祭り
が
あ
る
スペース

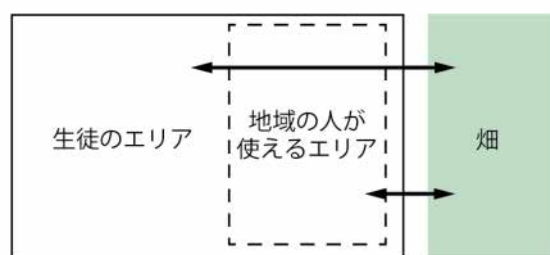


6 班：「学校で完結しない、オープンで自然や人をつなぐ学校」

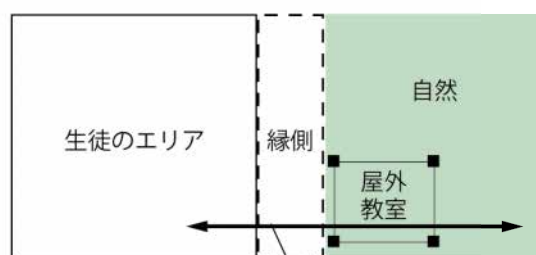
○探求的に学ぶ

- 1 ●学校内部と外の畑がつながる空間（地域の人も活用できる） **ごちゃまぜも**
 - ・ガラスで外と視覚的につながる教室
 - ・林を活用した屋外教室
 - ・屋外に向けた縁側
- 2 ●各クラスごとの畑、飼育教室
- 3 ●本物で学べる教室
 - ・芸術に打ち込めるものづくり教室
 - ・本格的な音楽スタジオ

1



【簡易配置図①】

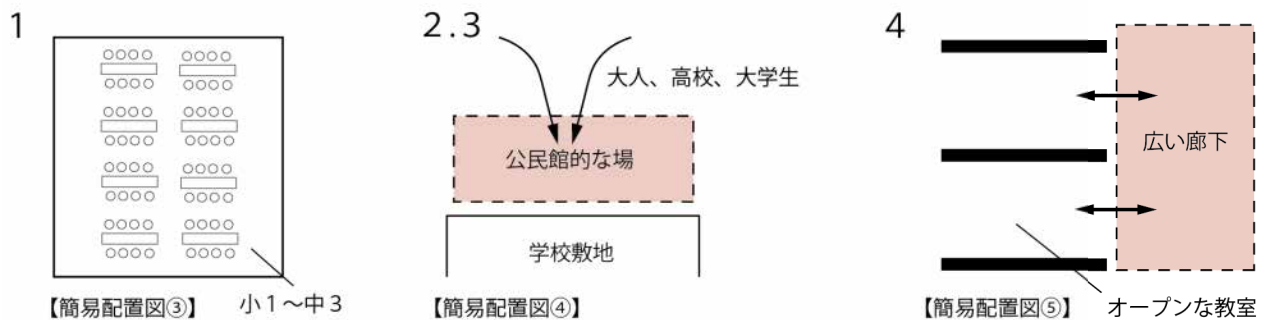


【簡易配置図②】

シームレスな接続

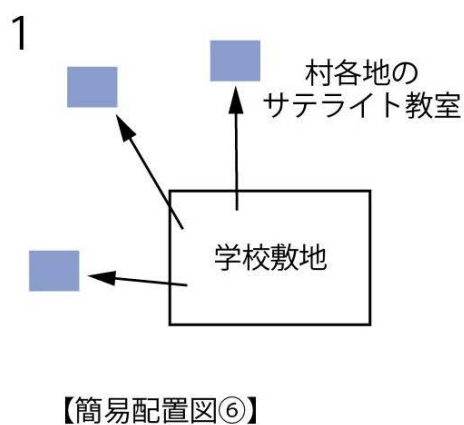
○ごちゃまぜに学ぶ

- 1 ●大きなランチルーム（学年問わず集まれる、時には地域の人も）
- 2 ●子供たちや村民が発表に使えるミニステージ
- 3 ●大人や高校生が使える教室、カフェ、マルシェ（公民館的要素を持つ空間）
- 4 ●広い廊下と繋がる教室（壁のない教室）
- 5 ●図書館の案
 - ・和室
 - ・掘りごたつ
 - ・円形の読書空間
- 6 ●先生が横になって休める場所→和室？
- 7 ●一人で集中できる空間（見晴らしのいい景色を活用）



○中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ

- 1 ●サテライト教室の導入（学校敷地外の各地区にサテライト教室を配置）
- 2 ●天竜川へと降りていける道の整備



2 学校から天竜川に降りられる道（緩い坂道）



【6班まとめ】

生徒だけでなく、地域の人を訪れることのできる空間を求めている。

特にその接点として、中川村特有の自然を活用することにニーズがあると考え。

その際、建築空間としては、水平・垂直方向に細かいレイヤーをつくり、グラデーション的な空間構成をすることが有効に思えた。

7班：自然の中の” なから” の学校

○探求的に学ぶ



科学館みたいな理科室

科学館のような器具が豊富で、実験で理解する場所



水族館みたいな理科室

水槽があって、色んな種類の魚を見れる。専門的に学べる。



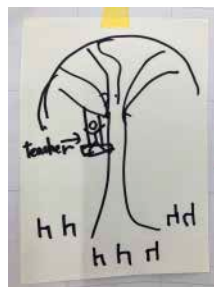
校庭のイチゴ畑

校庭で育てたイチゴをランチルームで食べれる。
いちごジャムも作れる



パークのある学校

バスケットコート、スケボーパークなど本格的なスポーツ設備を持ち、将来のオリンピックアスリートを排出する場になる。地域の人も利用可能。

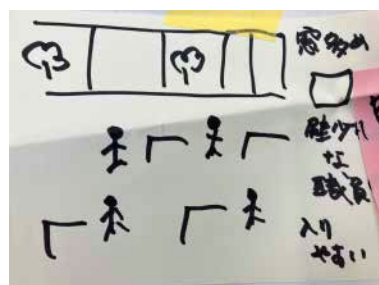


木陰ができる木々

木に登った先生の話聞きに子どもたちが集まる。

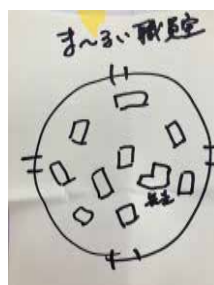
- ・四季を感じられる学校
- ・体験ができる場所がほしい
- ・ブックカフェ

○ごちゃまぜに学ぶ



明るい職員室

壁が少なく、子どもも入りやすい。



誰もが入りやすい職員室

まーるい職員室。



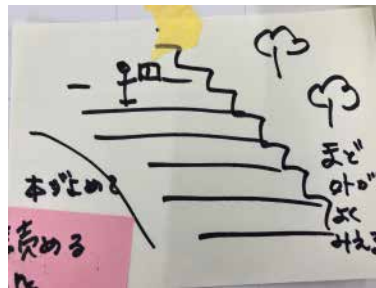
秘密基地

隠れられる場所が屋内にも屋内にもほしい。



中庭に動物がいる

ヤギ、ニワトリ、ネコなどを飼う
牧場でもいいかも。



本が読める階段

窓の外をみながら、読書できる。階
段横が大開口、座れるほど広い階段



雨が降っても運動できる

グラウンド

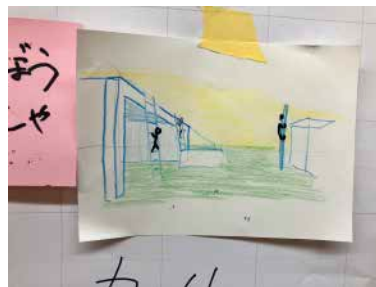
- ・外で給食
- ・原っぱで昼寝

○グローバルに学ぶ



天竜川で遊ぶ①

筏を作って浮かべて遊ぶ。ライフ
ジャケットあれば安全ではないか。



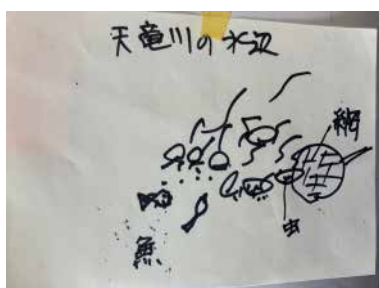
消防車のある学校

憧れの消防車が常駐していて、防災
場も○
ガレージで遊べる。



温泉・サウナがある

放課後の使われてない体育施設、ジ
ムを地域に開放。運動後に温泉に入
れる。



天竜川で遊ぶ②

網を使った魚釣り

- ・地域のシェアキッチン
- ・地域の農場で作物を学ぶ
特に果樹は農家の先生が
いっぱいいる。
- ・大人の講座ができる場
- ・村民が集うカフェ（兼ラ
ンルーム）
- ・村の木を使った校舎

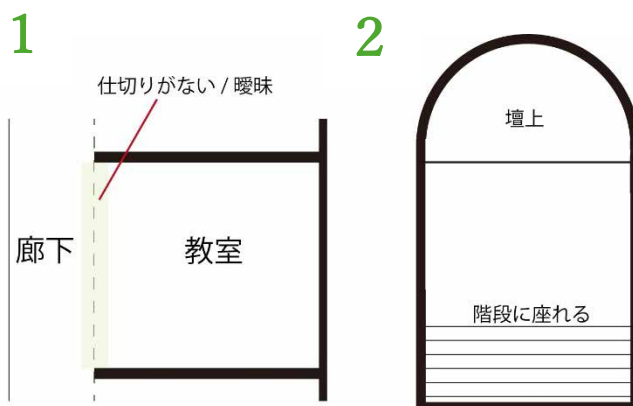
総括

- ・中川村の雄大な自然を使った教育、そしてそれを生かす校舎が求められていた。
- ・この班は子どもの気持ちになって、自由奔放でワクワクする提案をしてくださった。明確にルールや教育方針、空間の使いかたを決めずに「なから（中川村の言葉で「だいたい」の意味）」の精神で学校をみんなで徐々に作っていくような在り方もアリではないかという意見があった。
- 「中川村立なから学校」という響きがいい。

8班：「地域の人々・自然と関わる、まちの良さを活かした学校」

○探求的に学ぶ

- 1 ●廊下と教室の仕切りがない教室
- 2 ●ホール的に使える音楽室（**ごちゃまぜ**も）
- 3 ●本棚とか机を自由に動かせる図書館
- 4 ●吹き抜けの図書館



○ごちゃまぜに学ぶ

- 1 ●走れる廊下
- 2 ●曲がったろうか
- 3 ●扇形と教室
- 4 ●壁一面がホワイトボードの部屋
- 5 ●階段ではなくスロープ動線
- 6 ●だれでも入れるオープンな校長室と秘密の作業ができる空間
- 7 ●校舎の中がグラウンドから見える校舎（一面ガラス窓）
- 8 ●自由な形の部屋

2



3



8

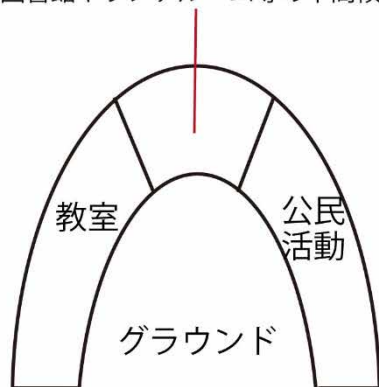


○中川村全体を学びの場としてグローバルに学ぶ

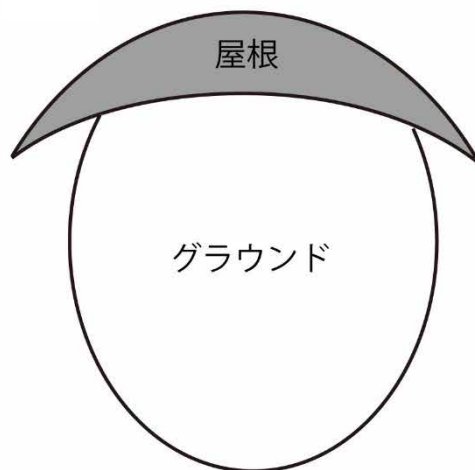
- 1 ●公民活動が一体的に可能な校舎
- 2 ●屋根付きのグラウンド
- 3 ●色々世話をしてくれる村のおじいちゃんやおばあちゃんが居る部屋
- 4 ●川が流れている学校
- 5 ●畑や田んぼのある学校
- 6 ●様々な設備を備えた自由な空間
 - ・ターザンロープ
 - ・クライミング
 - ・ねずみわたり
 - ・アスレチック

1

図書館やランチルーム等の中間領域



2



【8班まとめ】

地域の人と関わる場を求めている。そのうえで、自然や遊びの設備などを許容できる空間が必要であると感じた。また、校舎や部屋はもっと自由な形態を望んでいる。